

東京都各種学校日本語学校

自己点検・自己評価報告書

令和4年3月31日

学校法人山野学苑 山野日本語学校

日本語教育機関の告示基準第1条第1項第18号の規定されている通り、教育水準の向上を図り、日本語教育機関の目的達成と適切な学校運営を行うために、自己点検及び自己評価項目を定め、定期的に点検・評価を行うこととする。

なお、各項目の評価方法は5段階評価と定める。

5：達成している

4：ほぼ達成している

3：どちらともいえない

2：取り組みを検討中

1：改善が必要

自己点検・自己評価項目

1. 教育理念・目的等	評価
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5
1-2 学校の特色は何か	5
1-3 学校の将来構想を持っているか	5
1-4 理念に基づく教育が行われているか	5

[現状・具体的な取り組み、課題]

本校は日本文化を世界に広める山野学苑の方針により、留学生を通じて、国際視野の向上と国際交流の推進を図り、インターナショナル人間教育を目指している。また留学生が人生の理想を実現できるように、日本語教育を中心に力強くバックアップしている。今後は、より多くの国からの留学生を受け入れ、日本の文化を広め、諸外国との架け橋となる国際人材の育成を目指す。

2. 学校運営	評価
2-1 運営方針は定められているか	5
2-2 事業計画は定められているか	5
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効果的なものになっているか	5
2-4 人事や賃金での処遇、職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5
2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	5
2-7 危機管理体制は整備されているか	5
2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう整備されているか	5

[現状・具体的な取り組み、課題]

学校の運営方針や事業計画は学苑の理事会で議論・決定し、その方針が教職員に示され、教職員全員が学校運営に携わるという意識を共有している。また定期的な中間管理職会議、専任教員会議を開き、学校運営、教育目標達成状況などを確認する体制が整っている。人事や職場環境、情報システム、危機管理、施設・設備等などは、学苑全体で時代の発展に適応していくように前向きに取り組んでいる。

3. 教職員	評価
3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	5
3-3 教育評価を行っているか	5

[現状・具体的な取り組み、課題]

教育理念や目的は、定例会議、専任教員会議で取り上げ、常に共有されている。また教員のキャリアアップのために外部研修会への参加を推奨し、校内でも研修会と勉強会を開き、教育の質の向上に積極的に取り組んでいる。

4. 教育活動	評価
4-1 カリキュラムは体系的に編成されているか	5
4-2 授業評価の実施、評価体制はあるか	5
4-3 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
4-4 成績評価は適切に行われているか	5
4-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	5

[現状・具体的な取り組み、課題]

入学時のプレイスメントテスト、その後の学習到達度に応じて、初級から上級まできめ細かくクラス編成を行い、それに対応するカリキュラムを組んでいる。授業は、各クラスの担任教員を中心にチームを組み、そのチームの中でまず授業評価を行い、その評価に基づいて副校長・教務主任が再度授業評価を行っている。学生の成績は、5段階に分けて詳細に評価している。その基準は、平時の授業態度、出席率、小テスト及び3ヶ月ごとの定期テストを基に総合評価を行っている。また各種日本語試験の認定率向上のため、年8回のJLPT・EJUの模擬テストを行い、その結果をデータ化し、学生への学習指導を行っている。

5. 学生支援	評価
5-1 進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-2 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能している	5
5-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4
5-5 保護者と適切に連携しているか	4
5-6 卒業生への支援体制はあるか	4

[現状・具体的な取り組み、課題]

進学情報は、まず担当教員1名を配置し、各学校の進学情報の収集、募集担当者との打ち合わせなどを基にデータを作成し、学校内で情報を共有している。進学指導は、各クラス担任教員が行い、学生の個人面談、出願・面接のサポートを行っている。学生相談は、各クラス担任以外に、事務局にも担当職員1名を配置し、緊急連絡先・SNSを公表して、いつでも学生の悩みの相談、事故などに対応できる体制を整えている。また学生の身に問題が発生した場合は、学校から直接保護者と連絡を取り、互いに協力して問題を解決できるように努めている。本校は学生寮がないので、信頼できる会社を選別して情報提供するなど、学生の生活環境のサポートを行っている。卒業生には、在学期間中の各種証明書を無料で発行し、進路の悩み等にも気軽に相談できるように心掛けている。

6. 在留管理と生活指導	評価
6-1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
6-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
6-3 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
6-4 常に最新の学生情報を把握しているか	5

[現状・具体的な取り組み、課題]

入国・在留管理、生活指導は、入学時に母国語でオリエンテーションを行っている。学校生活だけでなく、日本の社会で生活する上で注意すべきルール・マナー、遵守すべき法律等の事例を取り上げながら詳細に説明している。また、学生の生活・進路相談内容、アルバイト情報などは、常に記録・更新し、学生の個人情報と厳密に管理しながらも、教務・事務で情報を共有している。

7. 学生募集と受け入れ

評価

7-1 学生の受け入れ方針は定められているか	5
7-2 学生募集活動は適正に行われているか	5
7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
7-4 入学選考は適正かつ公平な基準に基づいて行われているか	5
7-5 適正な定員設定および在籍者数になっているか	5

[現状・具体的な取り組み、課題]

学生の募集については、その基準と人数を学校内管理職会議で決定して募集活動に移行するとともに、海外仲介代理店に選考基準などを明確に伝え、学校と仲介代理店が協力して適正かつ公平な入学選抜を行っている。また教育内容、教育成果については、パンフレット、ホームページ、SNS などを通じて、随時正確な情報を発信している。

8. 財務

評価

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	5
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	5
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	5

[現状・具体的な取り組み、課題]

予算・収支計画は、学苑理事会で審議・決定されとともに、それに基づいて学校運営を行っている。また、適正な会計監査を受け、その財務状況も学苑で情報公開をしている。

9. 法令の遵守

評価

9-1 法令・設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	5
9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努力しているか	4
9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	4
9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	4

[現状・具体的な取り組み、課題]

学校法人設置校であるゆえに、法令・設置基準等は厳格に遵守し適正な学校運営をしている。個人情報保護対策は、学苑内で厳格な制度を設定し、適正に実行している。自己点検・自己評価は、これまで学校内で部分的に行ったことはあるものの、総合的に実施したのは今回が初めてである。今後は、毎年実施・公開し、問題改善に努める。

10. 社会貢献

評価

10-1 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献を行っているか	4
10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3

[現状・具体的な取り組み、課題]

毎年、学苑内で実施している学苑祭で、日本人の専門学校生、地域住民との交流を深めている。ただ、今年度はコロナ禍が拡大する中で、学生のボランティア活動は行っていないので、今後、地域社会を含め、留学生に適切なボランティア活動があれば、積極的に支援する予定である。

点検・評価実施：2022年3月31日

責任者：中澤 京子

担当者：日下田 誠司

陳 鍾煥